

平成 15 年度第 3 回愛知県周産期医療協議会

議 事 要 約

日時：平成 16 年 3 月 19 日（金） 午後 3 時から午後 5 時

場所：名古屋第一赤十字病院 第 6 会議室

委員

出席者：安藤委員、石川委員、石田（昭）委員（代理）、石田（時）委員、一木委員、犬塚委員、
岡田委員、加納委員、小山委員、鈴木委員、戸苅委員、早川委員（代理）、二村委員、
松澤委員、森川委員、山崎委員

欠席者：浅井委員、柴田委員、寺澤委員、奈倉委員、森田委員、吉田委員

事務局

出席者：愛知県健康福祉部児童家庭課主幹（母子保健グループ）

名古屋市健康福祉局健康部主幹（医務指導）、名古屋第一赤十字病院第二小児科副部長、
名古屋第一赤十字病院第二産婦人科副部長

欠席者：愛知県健康福祉部児童家庭課長

司会者：名古屋第一赤十字病院第二小児科副部長

議長：加納会長

1 加納会長あいさつ

2 議事

（1）愛知県周産期医療情報システム 専門相談報告の入力（案）について

目的として

- ・入力をより簡単にして労を少なくする。
- ・今日現在どのような入力状態であるか一目で見られるようにしたい。

入力について

- ・現在と同じ 1 件ごとの入力です。
- ・相談件数とバックトランスファー件数は件数のみの入力です。
- ・従来は日付で検索していましたが、入力コードを入れ検索しやすくしました。
- ・入力コードは患者の ID やシステムで自動に番号をつけることを考えています。
- ・相談方法・相談元氏名・妊婦年齢・妊娠週数は削除しました。
- ・依頼元施設はチェックのみにしました。
- ・相談内容はまとめたものもあります。

集計について

- ・現在はセンターから入力データをダウンロードして EXCEL で表示しています。
- ・今後はホームページ上でもみられるように考えています。
- ・搬送の動きを円グラフで表し件数の集計値表を作成します。
- ・入力項目が決まれば必要な集計値を出したいと考えています。

- * 現在紹介来院は基本的に入院扱いになっていないが、(案)だと紹介来院は入院項目入力とあるので入院扱いとするのか。
- * 今までどおり入院扱いとしない。
- * 後日入院扱いになった場合は、データに反映されないような気がします。
- * どこまで入院扱いとするのか。
- * 母体搬送の定義の難しさに関わってくるのでは。
- * 新生児の転帰入力がないので、必須項目ではないが追加したいと考えています。
- * 児の日齢で歳という表現は相応しくない。
- * 基本項目を入力し、コピーして次の入力に活かすことはできないか。
- * 1件入れた内容を保持して変更部分を入力し直す方法を考えていますが、コピーも検討してみます。
- * それぞれの施設でどのような患者を扱って、どういう予後かを把握することで実態をつかめるのでは。
- * 患者の動きを画面上でわかるようにしていきたい。
- * 入力は簡単にしたいが、必要な情報は得たい。
- * 依頼元施設のその他の時は実情がわからず、妊婦管理の問題としてピックアップする事例としてコメントを入れるなどした方がよいのでは。
- * 院外出生が多い場合はデータが集まるが、院内出生が多いところは協議会のデータベースに実態が表れない。
- * 選択方式と直接入力方式のどちらがいいか。
- * マウスだけであれば選択方式がやりやすい。
- * 新システムは平成16年10月から開始します。
- * 意見がありましたら事務局鬼頭先生までお願いします。

(2) 平成15年度愛知県周産期医療専門相談事業の報告と今後の課題について

<平成16年1月17日(土)一宮市立市民病院(尾張西部医療圏)>

- * 聖マリア病院・副院長 母子総合医療センター長 橋本武夫先生による「母乳育児の正しい理解とその支援」の講演会を開催しました。

<平成16年1月31日(土)名古屋市立城北病院(名古屋医療圏)>

- * 名古屋市立城北病院 名誉院長・小児科 後藤玄夫先生による「新生児の敗血症と抗生剤使用について」の講演会を開催しました。

<平成16年2月14日(土)公立陶生病院(尾張東部医療圏)>

- * 名古屋市立大学 産科婦人科学教室 助教授 杉浦真弓先生による「不育症の取扱いについて」の講演会を開催しました。
- * 12名の参加があり活発な討議が行われました。

<平成16年2月21日(土)トヨタ記念病院(西三河北部医療圏)>

- * 富山医科薬科大学 産婦人科教授 斎藤滋先生による特別講演「早産の予防・治療」と一般演題3テーマの講演会を開催しました。
- * 58名の参加がありました。
- * 「早産の予防・治療」を富山医科薬科大学中心にこの運動を全県に展開されている。

<今後の予定として>

*平成16年3月27日(土)名古屋第二赤十字病院(名古屋医療圏)

*平成16年3月27日(土)名古屋第一赤十字病院(名古屋医療圏)

*今年度は10施設で開催をお願いできました。

*来年度も是非今年度と同様に相談事業の開催をお願いします。

*予算の関係で出欠のはがきをなくし、メールやFAXでの回答とさせていただいてよろしいでしょうか。

*来年度から専門相談事業運営費の取扱いが変更になります。(資料 2-3参照)

(3)平成15年度愛知県周産期医療調査・研究事業の中間報告について

<超低出生体重児の地域療育利用に関する実態と問題点に関する調査について>

あいち小児保健医療総合センター 山崎嘉久

*周産期医療協議会の病院と地域の療育施設と超低出生体重児の家族にアンケート調査をして分析しています。

*療育のために他の施設を紹介する時、保健センター・児童相談所を介してというより、病院や療育施設に直接紹介する傾向があります。

*問題として療育施設の予約がとれない、療育内容が家族の希望にあわない、紹介先がわからない等があげられる。

*病院が把握している内容と地域療育機関とで相違があり、お互いに理解できていない傾向があります。

*円滑な連携のために周産期医療機関から地域療育機関に紹介する場合の療育マップを作成し提供したい。

*6月の医療協議会で報告し、研修会の時に最終報告をします。

<愛知県下における母体搬送応需状況の実態調査>

名古屋第一赤十字病院 石川薫

*愛知県産婦人科医会の先生338名にアンケート依頼しています。

*詳細は現在分析中です。

*6月の医療協議会で報告します。

*来年度の調査・研究のテーマの提案や希望があれば申し出てください。

*愛知県下における体外受精等において妊娠・分娩された方について調査・研究してはどうか。

(4)報告事項

愛知県周産期医療協議会小委員会の報告について

*概要は前回報告済みです。

*「ご退院に向けて」という用紙は、退院後にスムーズに支援ができるように、同意の確認をして申込みを促すのに使用して欲しい。

*用紙の配布先は協議会の医療機関と名古屋市立病院関係と県下の保健機関の予定です。

- * 保健機関の定義を明らかにした方がよいのでは。
- * 市町村を対象とします。
- * 未熟児を対象に医療機関と保健所で使用し、その他の児については国の様式を準用してはどうか。
- * 診療情報提供書の一部として扱って欲しい。
- * 連絡票を診療情報提供書として読替えた場合に保険点数は算定できるか。
- * 来年度の始めには連絡票の運用を開始したいと考えています。
- * 実行できる土台造りをして、中途半端にならないようにしてください。

愛知県の平成16年度予算について

< 周産期医療対策事業について >

- * 総合周産期医療対策費として
 - ・ 周産期医療協議会開催費
 - ・ 総合周産期母子医療センター事業費に充てられます。

< 特定不妊治療費助成事業について >

* 事業目的

生殖補助医療技術の著しい発達は、子どもを欲する夫婦にとって明るい展望が開けつつあるが、治療を受ける夫婦の負担は重いことから、経済的な負担の軽減を図る。

* 事業内容

指定医療機関において、特定不妊治療を受けた夫婦の治療費の一部を助成する。
(資料 3 - 2 参照)

< 不妊専門相談事業について >

* 目的

精神的負担の軽減を図ることを目的とした相談を専門スタッフにより行うと同時に医療機関の情報等を提供する。

* 内容

- ・ 電話相談 不妊カウンセラーが中心
- ・ 面接相談 医師・カウンセラーから選択
- ・ e m a i l 相談 「愛知県不妊専門相談センター」ホームページ上で受付

* 平成15年7月より開始し、来年度も引き続き行います。

* 電話相談は開始時に比べて伸び悩んでいます。

* 名古屋大学を中心に活発に活動しています。

愛知県の母子保健に関する統計について

- * 健康日本21 あいち計画は、国民健康運動として推進しています。
- * 平成11年・12年をベースラインとし最終目標値を平成22年度としています。
- * 目標値を目指して年次を追って見る必要があるので年次推移表を作りました。
- * 国の指標よりはよく、今のところ目標値はクリアしています。
- * 妊産婦死亡率を減らすのは難しい。

* 周産期死亡率は今のところ目標値をクリアしています。

* 詳しくは資料 4 - 1、4 - 2を参照してください。

児童虐待の現状について

* 虐待相談受付件数は急激に伸びています。

* 被虐待児の年齢階層別状況の特徴として

・中学生までは身体的虐待・ネグレクトが過半数を占めています。

・高校生・その他では性的虐待が増えています。

* 実父以外の父の虐待がクローズアップされているが、実態は実母が 60.9%を占めています。

(5) その他

愛知県周産期医療協議会開催要綱の一部改正について

* 会議 第5条3

会議録及び会議資料は5年間保存するというのが追加になりました。

医療機関 - 保健機関連絡票に関する県としての事務の流れについて

* 医療機関と保健所で連絡票の使用を考えています。

* 名古屋市等の中核市に説明し協力願いを出します。

* 県として行政政策的な文書を各保健機関に通達します。

平成16年5月31日で委員の任期が終了するため委員委嘱の手続きを4月以降に行うことについて

* 次期も協議会委員を引き続きお願いしたいが、変更があれば県の児童家庭課まで連絡をお願いします。

* 4月中旬頃に県から委員委嘱の確認の連絡をします。

その他

* 資料 3 - 1で周産期医療の定義とあるが、周産期の定義に医療をつけただけなので現実の周産期医療とずれている。

* 誤解のないようにわかりやすい言葉で説明を考えます。

* 平成16年度第1回愛知県周産期医療協議会を6月25日(金)に開催します。